

平成26年度文化芸術事業報告書(文化芸術交流事務)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村との交流を図り、情報収集や意見交流を行い、新たな文化芸術の視点を取り入れる。 ・近隣市町村と共同で行うことで広域的なネットワークづくりを行う。 ・古賀市の誇れる文化芸術資源を市内外に積極的に発信する。 			
日時	下記記載	会場	リーパスプラザ 大ホール	
来場者		参加者		
内容	<p>【粕屋地区美術展】 日時 平成26年11月27日～12月3日 10時～17時 会場 サンレイクかすや 内容 粕屋郡の1市7町の持ち回りで、毎年開催されている芸術部門の展示会。 平成26年度で42回目をむかえる。毎年古賀市から30点～40点の出品をしている。 市民から広報を通して作品公募し、出品する。</p> <p>【福岡 I ブロック芸文のつどい】 日時 平成26年11月23日 9時～ 会場 福津市文化会館 カメリアホール 内容 粕屋郡の1市7町、福津市、宗像市の持ち回りで、毎年開催されている芸能部門の発表会。 平成26年度で22回目をむかえる。毎年古賀市～3団体(10人～20人)が出演する。</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・今回新しく若い2人が出品し、2人とも奨励賞を受賞したことで、今後の創作意欲の向上につながった。 ・若い出品者に触発され、新たに出品を希望する人が増えた。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・出品者の高齢化が進んでいる。 ・出品者が減少傾向にある。 ・若い出品者の開拓が必要である。 			
H25年度決算額		H26年予算額		
0		120,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
13委託料	5その他委託料	21文化協会文化事業費委託	120,000	文化芸術振興事業委託事業(糟屋美術展) 700,000円
合計			120,000	
備考	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期			

平成26年度文化芸術事業報告書(文化祭)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・古賀市で文化芸術活動をおこなう個人や団体を積極的に活用し、古賀に根付く多彩な文化芸術の魅力を発表・鑑賞・体験する機会を提供する。 ・発表する機会を提供し、日々の活動を促すことで、文化芸術の根付きを促進する。 				
日時	下記のとおり		会場	リーパスプラザ 大ホール サンフレアこが ギャラリー	
来場者	芸能 2,361人 芸術 619人	参加者	芸能 46団体 芸術 147点(内花鶴小学校児童 15点 特別支援学校児童・生徒 21点)		
	分野	日時	来場者	出演者	
内容	芸能 10時～17時	11日(土)	975人	古賀キッズプラス、元気組、ゆかいななかまたち、クロスパル古賀和太鼓教室、Lady、古賀市市民劇団DAICOON、ユカリクラシックバレエ、啓峰吟詠会古賀第二支部、吉住歌謡教室、女声コーラスコールウィング、古賀マンドリンクラブ、ねじめの会民謡、みさカラオケ教室、三千久賀会、ねじめの会三味線、サンフレッシュダンス、玄海一座、女声コーラスアマービレ	
		12日(日)	843人	アンサンブルポピー、Myジャズダンス、吉住歌謡教室、茂寿の会、日本民謡大久保会、みさカラオケ教室、扇菊会、あすかダンススクール、Halau Hula O Hana Aloha、岡はちとゆかいな仲間たち、舞オカリナ教室、絃楽・たのしみ三味線、にこにこジャズダンス、箏曲系の会、古賀市相撲甚句会、寿駒会、絃楽・津軽三味線、ボランティアフリーバンドブルーファンタジア	
		H27年1月18日(日)	543人	福岡ヨーガ道友会、サンフレッシュダンス、みさカラオケ教室、古賀市市民劇団DAICOON、吉住歌謡教室、古賀三線島唄会、ばらの会、日本歌謡連盟、茂寿の会、高風民謡会、安来節保存会、ユカリクラシックバレエ、松富士会、ハラウフラ オ マカナアロハ、古賀市半面会	
	芸術 10時～17時	11日(土)	340人	洋画 6点(洋画の会)、日本画 11点(蒼墨同好会、日本画教室「藍」古賀教室)、書 64点(川口書道教室、さざなみ会、一五会、愉の筆)、陶芸 57点(古賀市陶芸同好会《水曜会》、《木曜会》、古賀陶友会)、写真 8点(写団こが)、工芸 12点(美智子押し花サロン、押し花幸葉、真友の会、竹友会)、文芸 6点(しきなみ短歌会)、特別出展 36点(花鶴小学校、古賀特別支援学校)、茶道 1席(翠芳会)、華道 12点(池坊の会、小原流瑞穂の会)、園芸 3点(古賀市花卉盆栽同好会)	
12日(日)		279人			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な演目を披露することで、幅広い層に親しまれ、「私も何かやりたくなりました」との意見もあった。 ・今年度より子どもたちの作品を展示したが、とても好評だった。 ・介護支援課の外出促進事業とコラボしたが、2日間で600人を超え、予想人数を大幅に上回った。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・配布した進行表より50分早く終わってしまったため、苦情が出た。また、幕間のロスタイムを撮りすぎ、緞帳を下ろさずに暗転が多かった。 ・申し込み時の申請時間との誤差が大きなところがあった。特に、カラオケの演目時間の見込みが大きく違ったので、今後は他の団体と同様に、カラオケ教室にも1曲ずつの時間を申請してもらう。 →正確な演目時間の申請と、変更時には連絡をもらう。芸術祭・文化祭の違いを認識し、ロスタイムを見直す。また、進行表は早くに公表しない。 プログラムの校正ミスが目立った。また、配布方法を事前に決めておらず、少しバタバタした。 →プログラム編集委員を決め、公正のやり方を見直す。 ・スタッフの中に、その日に出演する者がいたため、時間的に人数不足の持ち場があった。 →出来る限りスタッフの出演日を把握し、役割振りをする。 				
H25年度決算額			H26年予算額		
750,000円			800,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
13委託料	5その他委託料	1文化協会文化事業費委託	800,000	文化芸術振興事業委託事業(文化祭) 800,000円	
合計			800,000		
備考	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期				

平成26年度文化芸術事業報告書(地域の魅力発見講座)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での文化芸術活動の活性化をめざし、公民館や新たな活動場所を開拓する。 ・文化芸術活動を行う個人や団体を、行政が行う事業に積極的に活用する。 ・古賀市が誇る文化芸術に関する知識、技能、能力を後世に引き継ぐため、発信、伝承、還元する機会の提供と共に、子どもから大人まで幅広い世代の地域に文化芸術活動を推進する人材を掘り起こし、育成する。 				
日時	9月12日(金) 13時30分～16時 10月24日(金) 13時30分～16時 11月12日(水) 12時～15時	会場	第1回 古賀北区公民館 第2回 薬王寺区公民館 第3回 舞の里5区集会所		
来場者		参加者	第1回 8人、第2回 18人、第3回 9人		
内容	①地域で活躍している方を講師とする。 ②講師の先生が活動している地域の公民館を使うことで、市民に地域の公民館に親しんでもらい、新たな活動場所として開拓する。 ③公民館内だけで講座をするのではなく、地域を歩き回することで、地域の魅力を再発見してもらう。 定員 先着20名 その他 会場までは市のバスで向かう。駐車場が少ないため、歩きまたは自転車のみ現地集合を許可。				
	9月12日(金) 古賀西校区	オリジナル コースターづくり 講師:トビオ氏	①バス移動	リーパスプラザ集合	
			②講師あいさつ・紹介	職場体験の中学生も講師側として参加	
			③作成方法の説明	講師が作成した作り方をもとに説明	
			④下地作成	ボンドを熱で溶かし、それを好きな型に伸ばす	
			⑤材料拾い	海岸まで歩いていき、貝殻、石、木、草花を拾う	
			⑥仕上げ	装飾を終えたら、上からボンドで蓋をし、終了	
	10月24日(金) 小野校区	カメラのプロが 教える楽しい 写真講座 講師:小河 修次氏	①バス移動	リーパスプラザ集合	
			②講師説明	講座の流れを説明	
			③講義	講師作成の資料をもとに、写真について講義	
			④地域探索・撮影	地元民ならではの場所をめぐって撮影方法の解説	
			⑤まとめ	アンケートの記載等	
11月12日(水) 舞の里校区	水彩はがき絵づくり 講師:栄村 ひと恵氏	①バス移動	リーパスプラザ集合		
		②講座説明	講座の流れを説明		
		③材料拾い	近くの公園で落ち葉や木の実などを拾う		
		④ハガキ絵作成	水彩絵の具で様々なものをスケッチ		
		⑤まとめ	アンケートの記載等		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・歩いて地域を回することで、「古賀に住んでいて初めて知った」「普段、何気なく通っている道なのに見方を変えるだけで全然違う風景に見える」など改めて地域の魅力を発見してもらうことが出来た。 ・「帰って復習します」や「本格的に始めてみたい」との意見があった。講座内容を家庭でも出来る簡単なものにしたことで、1回きりで終わるのではなく、次につながっている様子が伺えた。 ・「いい先生に巡り会えた。古賀にこんな方がいたなんて」との声があった。地元で活躍している方を講師とすることで、講師と受講者がつながりやすく、継続的につながりが持てる。 ・「初めて講座というものに参加した。教えていただくことが多く、勉強になった。また企画してほしい」との意見があった。需要が高い講座をすることで、新しい人材の発掘を行えることが伺えた。 ・他校区の受講者から「他校区の公民館のことや習い事のことなどなかなか知る機会がない。貴重な体験だった」との意見があった。公民館を活用することで、新たな活用場所を開拓すると共に、地元の人しか知らない情報等を広く市民に伝えることが出来た。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・バスで会場に向かったが、連絡なく車で会場まで来られる受講者がいた。また、来ていない受講者に連絡は入れたが、繋がらない場合もあった。交通手段の変更、欠席等の連絡は必ずするよう徹底する。 ・需要が高い講座は、希望者が殺到し、定員に達した後も申し込みが相次いだ。キャンセル待ち等を行ってほしいとの意見もあったので、今後検討していく。 ・申し込みが3講座とも同じ時期なので、最後のほうの講座は申し込みから数ヵ月後に実施ということになり、忘れてたり、予定をいれてしまったという受講生が相次いだ。電話での事前連絡をし、確認をしていく。 				
H25年度決算額		H26年予算額			
274,000円		117,000円			
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
8報償費	2講師謝礼	1講師謝礼	50,000	講師謝礼 2,500円×10回×2人	
			40,000	会場費 1,000円×8回×5時間	
			16,000	空調機使用料 400円×8回×5時間	
11需用費	4印刷製本費	1	46,000	印刷製本費 46,000円	
	合計		152,000		
備考	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 環境づくり — 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 長期 — 行政がおこす — 長期				

平成26年度文化芸術事業報告書(コスモス市民講座)

目的	社会の成熟化に伴い、幅広い年齢の人々に学ぶことへの意欲が高まっています。人々が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学習することができ、その成果が適切に評価されるような生涯学習社会を目指し、「市民が主体となって相互に学びあい、教えあい、高めあうことにより、心豊かに学び続ける人が育つまちづくり、仲間作りに貢献すること」を目的に開催します。		
日時	4月8日(木)～12月25日(木)	会場	リーパスプラザ 大会議室、研修棟 他
来場者		参加者	1041人
内容	◎講演会		
	①日 時	5月8日(木) 10時～12時	受講生 103人
	内 容	「脳のリラクゼーションの体感 ～ジャズの効用～」	
	講 師	ジャズシンガー ムーサ・ミュキ	
	②日 時	7月3日(木) 10時～12時	受講生 33人
	内 容	「取材現場から見た 黒田官兵衛」	
	講 師	西日本新聞社都市圏総務デスク 萩原昭雄	
	③日 時	9月18日(木)10時～12時	受講生 89人
	内 容	「落語を聞こう ～笑いで始まる学びの舎～」	
	講 師	宗像落語会 粗忽家酔書	
④日 時	10月2日(木) 10時～12時	受講生 51人	
内 容	「税金について ～消費税と相続税～」		
講 師	香椎税務署 消費税、相続税担当者		
◎体験講座 前期期間 5月～8月			
⑤講座名	「バレエストレッチ」		受講生 18人
日 時	6月19日(木) 10時～12時		
内 容	バレエの動きを取り入れたストレッチを学びます。		
講 師	ユカリクラシックバレエ 光永祐香里		
⑥講座名	「エコクラフトでミニかご作り」		受講生 20人
日 時	6月24日(火) 10時～12時		
内 容	エコクラフトでミニかごを作ります。		
講 師	コスモススタッフ 中菌真紀子		
⑦講座名	「黒田節を唄う」		受講生 10人
日 時	7月2日(水) 10時～12時		
内 容	大河ドラマで活躍中の黒田25騎の一人「母里友信」の逸話と黒田節を唄います。		
講 師	日本民謡「大久保会」 大久保宗人		
⑧講座名	「こけ玉作り」		受講生 32人
日 時	7月16日(水) 10時～12時		
内 容	オリジナルの苔玉を作ります。		
講 師	古賀市緑のまちづくりの会 青崎安孝		
⑨講座名	「暮らしに彩りを」		受講生 14人
日 時	7月23日(水) 10時～12時		
内 容	布と和紙、お花、器を組み合わせて玄関やテーブルのコーディネートを学びます。		
講 師	茶寮Kunpu 佐々木洋子		
⑩講座名	「自分で着つける浴衣」		受講生 17人
日 時	7月26日(土) 19時～21時		
内 容	浴衣を自分で着つけられるようになるまで学びます。		
講 師	着物着付研究科 講師 杉山淑子		

平成26年度文化芸術事業報告書(コスモス市民講座)

内容	◎体験講座 後期期間 9月～12月					
	①講座名	「古賀史発見」				
	日時	1回目 9/26 2回目 10/9 3回目 11/13 10時～12時 全3回				
	内容	1回目 青柳地区(色姫の墓、青面金剛像、五所八幡宮 他) 2回目 谷山・小山田地区(谷山神社、小山田斎宮、十三仏板碑 他) 3回目 薦野・清滝地区(清瀧寺、仕掛け水、養徳山、天降神社 他)			受講生	22人
	講師	コスモススタッフ 矢野政昭さん				
	②講座名	「笑顔を届ける歌声」				
	日時	1回目 9/30 2回目 10/21 3回目 11/11 10時～12時 全3回				
	内容	1回目 あこがれのデュエット曲 2回目 秋の歌を歌おう 3回目クリスマスソング				
	講師	(株)アルカディア 井上祐子さん			受講生	36人
	③講座名	「喜楽に洋食を」				
	日時	1回目 9/26 2回目 10/23日 3回目 11/27日 10時～12時 全3回				
	内容	1回目 角煮まん風、梨と柿のサラダ他 2回目 スープスパゲッティ、抹茶プリン 他 3回目 揚げ飯・牡蠣の雑炊、秋野菜のグリル焼き 他			受講生	20人
	講師	管理栄養士 江頭みゆきさん				
	④講座名	「おやじの見せ所」				
	日時	1回目 9/24 2回目 10/15 3回目 11/19 10時～12時 全3回				
	内容	1回目 交流料理 2回目 野外調理 3回目 鍋料理			受講生	15人
	講師	コスモススタッフ 荒牧絹世				
⑤講座名	「大人の寺子屋」					
日時	1回目 10/10 2回目 11/17 3回目 1/14 10時～11時 全3回					
内容	中学校で中学校教科を中学校教諭から習う 1回目 社会 2回目 体育 3回目 音楽(琴の演奏)			受講生	8人	
講師	古賀中学校の担当教諭					
⑥講座名	「歌から入る楽しい英語」					
日時	10月1日(水) 10時～12時					
内容	カーペンターズの曲を歌いながら、英語の初級を学ぶ			受講生	22人	
講師	J-SHINE所属 橘 由香さん					
⑦講座名	「日本のおもてなし」					
日時	10月8日(水) 10時～12時					
内容	心づかいの文化(礼法、優雅な立ち居振る舞い、懐紙の折り方、感謝の表わし方等)			受講生	14人	
講師	にしむらきもの学院・礼法教室 主宰 西村多美子さん					
⑧講座名	「プロのパティシエールに学ぶチョコレートケーキ」					
日時	10月14日(火) 10時～13時					
内容	パティシエールにプロが作るチョコレートケーキを学びます			受講生	19人	
講師	SweetLand 0503 パティシエール 安松裕子					
⑨講座名	「ジャズを歌おう」					
日時	10月16日(木) 13時～15時					
内容	プロのジャズシンガーからジャズの名曲を習います。			受講生	18人	
講師	ジャズシンガー ムーサ・ミュキ					
⑩講座名	「フラッシュモブダンスでKOGAおこし」					
日時	1回目 10月25日(土) 10時～12時 2回目 11月15日(土) 10時～12時					
内容	フラッシュモブダンスで古賀に活気を起こそう。			受講生	19人	
⑪講座名	「筆ペンの達人」					
日時	11月5日(水) 10時～12時					
内容	筆ペンで年賀状の書き方を学びます			受講生	31人	
⑫講座名	「自分で出来るリンパマッサージ」					
日時	11月7日(金) 10時～12時					
内容	自分の顔を中心に自分でリンパマッサージができるように初級コースを学びます。			受講生	38人	
講師	リンパトリートメントアソシエイツボラボラリンパの会 伊規須 香奈枝					
⑬講座名	「きり絵を楽しむ」					
日時	11月14日(金) 10時～12時					
内容	紙とカッターで切り絵を習います。			受講生	12人	
講師	内田 隆					
⑭講座名	「暮らしに彩りを」					
日時	11月18日(火) 10時～12時					
内容	多肉植物を使つてのテーブルコーディネートを学びます。			受講生	15人	
講師	茶寮 Kunpu 佐々木洋子					
⑮講座名	「もっと知りたい終活」					
日時	11月20日(木) 10時～12時					
内容	エンディングノートの書き方、悔いを残さないための自分の思いを伝える			受講生	35人	
講師	一般社団法人終活普及協会 寺田良平					
⑯講座名	「紙芝居を読んでみよう」					
日時	1回目10月3日(金) 2回目11月7日(金) 3回目12月5日(金) 全3回 10時～12時					
内容	紙芝居の歴史、読み方の実技、発生練習 等を学びます。			受講生	7人	
講師	古賀市紙芝居サークル「カチカチ会」代表 相戸 孝敏					
⑰講座名	「親子で絵画教室」					
日時	10月26日(日) 10時～12時					
内容	親子一緒に絵を画きましょう			受講生	7家族	
講師	中村学園大学 非常勤講師 中野隆二					

平成26年度文化芸術事業報告書(コスモス市民講座)

成果	<p>・「はじめてのチャレンジ」で新しい講座内容が増えたのと、回数的に入りやすい回数だったのか新しい受講生が増えました。受講された方からは、今後も同じ内容で続けてほしいとのコメントが多くありました。また、通年コースの4コースはマンネリ化ではあるが、参加希望が多く、受講生を集めることが出来る(課題でもあるが、成果でもある)</p>			
課題	<p>・「講演会」の参加については少なくなってきましたので、講師の選択を今までにない「ジャズ」や税金のお話などを取り入れた結果、少し増加しましたのでニーズ応じた内容、人気の講師だと参加者が増えると確認できました。次年度は再度内容と講師と時代に応じた企画を考えたいとおもいます。</p>			
H25年度決算額		H26年予算額		
247,000円		380,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	2 講師謝礼	1 講師謝礼	380,000	地域教育力向上事業(コスモス市民講座事業)
合計			380,000	
備考	<p style="text-align: center;">古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期 環境づくり — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす</p>			

平成26年度文化芸術事業報告書(乳幼児絵本との出会い促進事業)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児と保護者が絵本を介して向かい合い、「暖かくて楽しいことばのひと時」を持つことを支援する。 ・子育て中の親子の居場所づくりや、子育てに関する相談・情報提供を行い、育児不安や子育て負担の軽減を図る。 ・基本的生活習慣の習得 			
日時	月1回 10:00受付11:00~12:00	会場	サンコスモ古賀 すこやかホール	
来場者		参加者	4か月児とその保護者	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・わらべうた・ふれあいあそび ・絵本の読み聞かせ ・ブックスタートの趣旨、配布物の説明 ・図書館からの説明(図書カード・ねえよんで他) ・基本的生活習慣の習得に関する啓発 ・子どもとメディアとの関係づくりのグループワーク ・絵本の引換 ・育児相談 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて絵本と出会う方もいて、読み聞かせの楽しさを知ってもらえている。また、絵本の選び方の参考になっている。 ・つどいの広場「でんでんむし」利用につながり、ママ友づくりのきっかけになっている。 ・乳児全戸訪問で出会った幼児との再会の場となり育児の現況確認や育児相談の機会になっている。 ・事業に不参加で再訪問が必要な家庭への訪問をする際に絵本を持参することは訪問のきっかけにもなっている。 ・赤ちゃんの成長を身体と心の発達やコミュニケーションの深まりの面などから考えてもらえるようになった。 ・ブックスタート後の図書館での赤ちゃんおはなし会への参加が定着している。 ・男性が赤ちゃんを連れてこられたり子どもと図書館で過ごすことが普通になってきた。絵本の読み聞かせも育児に欠かせないこととして家庭に浸透しているようだ。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・古賀市の広報や行事予定表や乳児全戸訪問にてPRしているが引き換え率が100%になっていない。 ・交通手段が無いため参加が困難な方がいる。 ・図書館の利用登録申請書を一緒に配布しているが、赤ちゃんが実際に登録するのは、1回につき4人程度で、多いとはいえない。広報などで呼びかけていきたい。 ・ブックスタート以後の就学前の子どもの読書の実態の把握をしていきたい。 ・家庭に乳幼児の読書を推奨するための取組。他の課や機関との連携をしていきたい。 			
H25年度決算額			H26年予算額	
(子育て支援課)234,725円 (図書館)60,060円			(子育て支援課)259,000円 (図書館)61,776円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8	2	2	48,000	メディア啓発謝礼
11	1	1	168,480	絵本代
			42,120	アドアイス集
	小計		258,600	(子育て支援課)
11	4	1	61,776	赤ちゃんえほんリスト「ねえよんで」印刷費
	小計		61,776	(図書館)
	合計		320,376	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期 — ざわめきづくり — 行政がおこす — 長期			

平成26年度文化芸術事業報告書(レッツトライ！プロジェクト)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興を担う人材の支援として、既存の団体の活性化と新しい団体の創生を支援する。 ・古賀市において活動する団体の交流を行い、お互いに認め合い、高めあえるよう、団体間のネットワークを広げる。 			
日時	第1回 8月28日(木)、第2回 10月30日(木)、 第3回 11月28日(木) 19時～21時	会場	リーパスプラザ 大会議室 (第3回のみ研修棟202号室)	
来場者		参加者	第1回13人、第2回14人、第3回11人	
内容	<p>内容 講師大澤寅雄氏とコーディネーター坂崎隆一氏に協力いただき、古賀市が抱える課題や、古賀市が誇る魅力を基に、文化芸術を通して人やまちを盛り上げることが出来る事業を考え、具体化し、企画書の作成まで行った。</p> <p>講師 大澤 寅雄 氏 (ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室) コーディネーター 坂崎 隆一 氏(坂崎隆一型事務所代表)</p>			
	8月28日(木)	①あいさつ	【自己紹介】知り合いがいない人は自己紹介、知り合いが少ない人から順にその人を知っている人がどういう人なのかを紹介する。 【ワークショップ】グループに別れ、同じグループの人が何をしたいかを付箋に書き、模造紙に貼り付ける。	
		②アクションプランの説明		
		③講師およびコーディネーターの紹介		
		④昨年度までの流れ		
		⑤自己紹介		
	10月30日(木)	①講座の説明	【ワークショップ】前回でた意見を4つのグループに分別し、その中から興味があるグループを選び、付箋をもとに企画を具体化していき、グループごとに発表する。	
		②グループワーク		
		③質疑応答		
④次回の日程決め				
11月28日(金)	①講座の説明	【ワークショップ】3つのグループで前回講座の意見を元に案を更に具体化したものを模造紙に企画書形式で記載し、発表する。		
	②グループワーク			
	③発表			
	④まとめ			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・実施可能な企画が3つ挙がり、その1部がすでに今年度実施する予定になっている。また、今年度実施は難しいが、数年以内には実施したいとの意見も挙がっている。 ・本講座を通して団体同士が得たつながりで、別の事業を合同で行っていた。 ・チラシを配布する際、興味がありそうな方を紹介してもらい、また次の方にもという方法をとったところ、新しい人材の発掘ができた。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・やらされるのではなく、長く、自立して、自主的に事業を続けるためにも、講座では企画を作り上げるまでを行い、講座終了後に参加団体の自主的な力で企画の実施を行ってほしいとの思いから、講座内で企画の実施までは行わなかったが、講座終了後にとったアンケートでは、挙げた企画をどうしていいのかわからないとの意見が挙がった。 ・今回初めての実施だったこともあり、どのように進んでいくか先が読めず、説明が不足していたこともあった。講座がどのように進んでいくのかまた、目的は何か等わからなかったとの意見が挙がった。 →目的については講師からも職員からも何度も説明を行ったが、なかなか伝わらなかった。根気強く説明を続けて行きたい。また、本講座がどのように進むのか、終了後はどうしてほしいのかを受講者にしっかり伝える。 ・新しい人材発掘のため、今までに依頼したことのない店にチラシの設置のお願いをしたり、人づてに紹介してもらおうなど出来る限りのことを行ったが、新規の受講者はそれほど増えなかった。 →チラシ、HP、広報こがなど様々な方法で広報を行ってきたが、直接個人又は団体に訪ねてお話をするほうが、より有効なように感じる。手間と時間はかかるが、地道に行っていく。 			
H25年度決算額		H26年予算額		
274,000円		90,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	2講師謝礼	1講師謝礼	90,000	講師謝礼 300,000×3回
合計			90,000	
備考	環境づくり — 行政がおこす — 長期			

平成26年度文化芸術事業報告書(公募型補助金:市民劇団DAICOON)

目的	・心豊かな人材育成、世代間交流、文化芸術振興を図る			
日時	下記のとおり	会場	ワークショップ リーパスプラザ 研修棟 大ホール 定期公演 リーパスプラザ 大ホール	
来場者	ミュージカル公演 731人	参加者	演劇ワークショップ 9人	
内容	古賀市内の小学3年生以上から一般成人を対象に舞台芸術の演劇を通して、表現力、創造力、コミュニケーション能力を養うため、演劇ワークショップを行う。また、古賀の歴史、文化、まちづくりを題材にオリジナル脚本、オリジナル曲を作成し、ワークショップ参加者も舞台体験が出来るように一緒に公演を行う。			
	5月3日(土)～6日(火) 10時～15時	内 容 演劇ワークショップ 会 場 リーパスプラザ 研修棟 大ホール 参加費 2,500円 参加者 小学生 2人、中学生 1人、大人 1人		
	7月24日(木)～27日(日) 10時～15時 13時～15時	内 容 演劇ワークショップ 会 場 リーパスプラザ 研修棟 大ホール 参加費 1,500円 (前回参加者が少なかったことを考慮し、参加費の減額を行った) 参加者 小学生 5人(5月のワークショップの参加者とは別)		
	9月28日(日) 午前の部(11時～) 午後の部(15時～)	内 容 市民劇団DAICOON第6回公演「悠久の風～私たちの場所～」 会 場 リーパスプラザ 大ホール 参加費 1000円(ワークショップ参加者のみ) 入場料 前売り:1,000円(子ども300円) 当日:1,200円(子ども500円) 参加者 731人		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ参加者の数人が新たな団員になった。 ・子どもたちの成長は素晴らしく、随所に家庭や学校とは異なる表情を見せることができ、保護者の方や学校の先生からも驚きの声が上がっていた。子どもたちの居場所としても劇団の必要性を感じた。 ・来場者数も年々増加傾向にあり、アンケートでも大変好評である。 ・アンケートでは、約40%が「はじめて見る」と回答していた。まだまだ新たな来場者を開拓できる見込みがある。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ぎりぎりまで支出を抑えているが、報償費や会場費で費用がかさんでしまう。しかし、現在は自主財源の確保が難しい状況にあり、補助金や助成金で賄っている。 ・団員また、ワークショップの参加者の確保の方法を検討していかなければならない。 			
H25年度決算額		H26年予算額		
500,000円		500,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
19負担金、補助及び交付金	4補助金	41公募型補助金	1,594,000	定期演奏会 437,000円 夏休みこども体験教室 212,000円 古賀市第九演奏会 409,000円 演劇ワークショップ「悠久の風」 500,000円
合計			1,594,000	
備考	環境づくり 古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 短期 — 眠った宝を起こす — 団体がおこす — 団体がおこす			

平成26年度文化芸術事業報告書(自然史歴史教養講座)

目的	市民が自然、歴史について学ぶ機会として「自然史・歴史講座」を開催する。			
日時	下記記載	会場	下記記載	
来場者			参加者	下記記載
内容	<p>第1回 現地学習「黒田官兵衛の軌跡をたどる」 5月21日(水) 9:00～15:45 福岡城址・舞鶴公園(福岡市中央区)～崇福寺(博多区) 参加者 34人</p> <p>第2回 講演「船原古墳群から出土した金銅装馬具と古代の国際交流」 6月1日(日)13:00～15:40 福岡大学人文学部歴史学科教授 桃崎祐輔氏 サンプレアこが視聴覚室 参加者 125人</p> <p>第3回 現地学習「さまざまな馬具を見てみよう」 6月15日(日)9:00～16:00 王塚装飾古墳館(桂川町)～九州歴史資料館(小郡市) 参加者 32人</p> <p>第4回 現地学習「黒田の家臣 薦野増時の史跡に行く」 9月27日(土)10:30～15:00 梅岳寺(新宮町)～清瀧寺、養徳山(古賀市薦野) 参加者:18人</p> <p>第5回 トークショー「歴代資料館長が語る資料館20年の歩み」 11月16日(日)13:30～15:30 初代館長 安武敏夫さん、第2代館長 石井 忠さん サンプレアこが視聴覚室 参加者49人</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の放映を機に、黒田官兵衛と立花氏・黒田氏に仕えた薦野増時の史跡を訪ね、その足跡を学ぶ。」「船原古墳の出土遺物と馬具について学ぶ。」「歴史資料館20年の回顧」の3つのテーマにより講座を設定。 ・第1回講座では福岡城バーチャル体験により福岡城の歴史や構成を詳細に学んだ。黒田氏の菩提寺である崇福寺について学習した。第4回講座では古賀市史跡案内ボランティアの協力を得て、郷土の戦国武将薦野増時について学んだ。 ・第2回講座・第3回講座では船原古墳から発見された遺物の調査とその重要性について学び、装飾古墳と馬具について現地学習を行い、九州歴史資料館ではバックヤードツアーと調査にかかわられた職員の話話を傾聴した。 ・歴史資料館歴代館長から20年間を振り返っての思い出話やエピソードを話していただき郷土の歴史伝承に傾けられた思いに触れることができた。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる歴史伝承活動の推進のため、広く周知を行う必要がある。 ・現地学習の参加希望者は多いが、実施の回数・形態の拡張は困難。 			
H25年度決算額			H26年予算額	
74,515円			90,000円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	02講師謝礼	01講師謝礼	60,000	歴史文化普及事業／自然史歴史教養向上事業
9旅費	02普通旅費	02普通旅費	2,000	
11需用費	01消耗品費	01消耗品費	18,000	
14使用料及び賃借料	01使用料	01施設使用料	3,000	
	05 駐車場・有料道路使用料	05 駐車場・有料道路使用料	7,000	
合計			90,000	
備考	環境づくり — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期			